

## 『幻を理解せよ』(ダニエル書 9章 19-27節) 2022.2.27.

<はじめに> 「その街と石垣とは擾乱の間に建てなおされん」(文語訳)。51年前の年頭に、母教会でこの聖句が開かれました。このみことばと幻を受け取ったダニエルに「理解せよ」(23)と御使いガブリエルが呼び掛け、主イエスも「読者はよく理解せよ」(マタイ 24:15)と語られています。

### I 祈りを始めたとき(19-23)

#### ①御使いガブリエル(20-21)

若くして捕囚民となったダニエルも、この箇所では 80 歳代です。エレミヤの預言でエルサレム荒廢が 70 年(エレ 29:10)と悟った彼は、数年でその時が満ちると知り、その実現を主に祈り求めました(3-19)。久しく祈る彼に、ガブリエル(8:16)がすばやく飛んで来て近づきます。

#### ②悟らせようと(22-23)

ガブリエルは彼に一つのみことば(24-27)を伝えるために来ました。エレミヤの 70 年の預言の詳細を伝え、神の意図(24)と計画の型と段階(25-27)が示されています。神はご自分の友、特別に愛する者(23)にそのことを明かされます(マタイ 13:11)。

#### ③賢明にさせようと(22-23)

みことばを伝え、悟らせるのは、大切なことを示し、気付かせ、理解させるためです。祈りとみことばに心を向ける者は、表層的な理解だけでなく、その奥に隠されている神の御計画と御旨を注意深く見つけ出し、真理を洞察するようになります。

### II 一つのみことば(24-27)

#### ①70 週の幻(24)

エレミヤの 70 年の預言に基づき祈ったダニエルに、イスラエルとエルサレムに向けて、神は 70 週を定めていると語られます。人の背き・罪・咎の終結とともに、神の義と真実と聖を確立するためです。民と都の赦しと回復だけでなく、その先にある完成まで示されます。

#### ②幻が示す型(25-27)

ここで 70 週が、エルサレム再建命令から油注がれた者・君主が来るまでの 7 週、62 週の苦しみの期間の終わりに油注がれた者は断たれ、破壊・荒廢・反逆の最後の一週を経ると描かれます。「週」は 7 を単位とする一巡りで、7 倍と解することが自然です。

#### ③油注がれた者と荒らす者

油注がれた者(ヘブル語:メシア、ギリシャ語:キリスト)については、来たる救い主イエス・キリストを指すと見てよいでしょう。しかし、苦しみの期間(25)や次に来る君主(26)、荒らす者(27)が何時の何事/何者を指しているのかについては様々な意見があります。

### III 今、あなたを賢明に

#### ①定められている(24,26,27)

三度「定められている」と神は言われます。70 年で終わらないことにダニエルは衝撃を受けたかもしれませんが、しかし、永遠に続くわけではありません。神は終わりを明確に定めて、そこに向けて着実に段階を経て進められます。神はカウントされる方です。

#### ②真っ直ぐではない(25-27)

勸善懲惡の物語にも波乱はあります。わかりやすくとんとん拍子に物事が進むことの方が稀です。権力者(角)同士が争い、悪がはびこり、苦難と混乱が人々を悩ませ、正義と平和が踏みにじられる現状を見て、神の義と真実と聖を投げ捨ててはいけません。

#### ③そしてついには(27)

聖書全体に描かれている神のシナリオの大きな流れを知り、そこから私たちは神の御計画と真実さに気付いているのでしょうか。ルカ 18:7-8 で主イエスもそのことを確約されています。問題はそれが実現するとき、地上に、私たちの内に、信仰が見られるかどうかです。

<おわりに> 主の御計画は着実に実現し、信じる者はそれを見て、神の真実さを賛美します。地上でそのすべてを見られるかどうかは分かりませんが、神の御前において必ずそうさせてくださいます(ヘブル 11:13)。みことばにより、賢明にならせていただきますよ。(H.M.)